

大学教育学会ニュースレター

No.86 2011.2.10

大学教育学会 (*Liberal and General Education Society of Japan*)

事務局 : 桜美林大学淵野辺キャンパス内

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1

TEL/ FAX : (042) 704-7014

郵便振替口座:00120-4-178891 大学教育学会

e-mail: ungakkai@gmail.com

URL: <http://www.daigakuyoiku-gakkai.org/>

大学教育学会 第33回(2011年)大会

総合テーマ

「大学教育の質とは何か—ふたたび大学のレゾナードルを問う—」

大学教育学会第33回大会

企画委員長 坂井昭宏

(趣旨)

大学教育の質保証の課題は、我が国の高等教育の最重要課題とされ、シラバスや GPA 制度の導入、成績評価の厳格化など日常的な教育実践の具体的な改革メニューへの対応が求められてきました。このような、具体的で精微化する傾向にある改革の種々の手法は、質保証の基本的な考え方や全体像においてどのように位置づけられるのか、そのことの意味をあらためて問う必要があります。

こうした手法は、表面的にはグローバル化時代の要求に見合う社会的人材の育成という現在の課題に適合しているように見えるのですが、旧大学設置基準の大綱化の目的の一つが大学の個性化にあったことを思い起こすなら、いたずらに大学の画一化(学校化)を促進にしてきたに過ぎないとも思われます。実際、大学はその出自と歴史、所在地、学部学科の構成、卒業生の社会的進路、入学者層や教員層など、どのような指標をとってもじつに多様であり、それぞれ独自の仕方、同様に多様な社会的期待に答えてきたのではないのでしょうか。こうした観点から、改めて「何のため、誰のための質保証」と問わざるをえません。

また一方で、質保証のための前提としての社会のありように眼を向けるならば、高齢化社会の到来は、人生にとっての大学教養教育の意味をも変容させてしまう可能性があります。従来の大学教養教育の最重要課題は、青年の社会的自立に置かれてきたのですが、その意味を狭く「職業=労働を介した社会参加」として理解するなら、高齢期は「限りなく続く余暇の期間」ということになります。実際、すでに現在の大学教育は、そこで学ぶ学生にとって望ましい就職の機会を得るための準備教育にすぎず、自分の人生全体を見通した上での生きる意味とか価値を学ぶための教育とはほど遠いものになっているように見えます。

では、人生の掉尾を飾るにふさわしい高齢期の生き方とは、どのような生き方なのでしょう。現在の高齢化社会にあって、離職、転職、失業、配偶者との離別、近親者の介護は、もはやごく少数者のみが経験する人生の偶発事ではありません。また、最近では学生の社会的成熟の遅れも大学教員のしばしば実感するところです。このような点を踏まえて、生涯発達という観点から大学教育の意味を問い直すことも緊急の課題です。

本大会では、人生の時間的なスパンという観点や社会のありようをも視野に入れたうえで、大学教育が保証すべき質の問題を考えたいと思います。

大学教育学会 第33回(2011年)大会

総合テーマ

「大学教育の質とは何か—ふたたび大学のレゾナードールを問う—」

1. 開催日時及び会場

期日 2011年6月4日(土)～5日(日)

会場 桜美林大学 多摩アカデミーヒルズ(京王線・小田急線多摩センター徒歩10分)

桜美林大学 町田キャンパス(JR横浜線淵野辺駅下車スクールバス8分)

2. 大会日程

第1日：6月4日(土) 多摩アカデミーヒルズ

9:00 9:30 9:40 12:10 13:10 14:10 14:20 15:20 15:30 18:00 20:00

新入会員 セミナー		シンポジウムⅠ	昼食	総会		基調講演		シンポジウムⅡ	懇親会
--------------	--	---------	----	----	--	------	--	---------	-----

第2日：6月5日(日) 町田キャンパス

8:30 9:00 12:00 12:15 13:15 16:30

受付	ラウンドテーブル		昼食 次回大会校 挨拶等	自由研究発表
----	----------	--	--------------------	--------

第1日 6月4日(土) 多摩アカデミーヒルズ

- 8:30～ 受付
- 9:00～9:30 新会員及び初めて参加される方のためのオリエンテーション
- 9:40～12:10 シンポジウムⅠ(150分)
- 12:10～13:10 昼食
- 13:10～14:10 総会(60分)
- 14:20～15:20 基調講演
- 15:30～18:00 シンポジウムⅡ(150分)
- 18:00～20:00 懇親会

第2日 6月5日(日) 町田キャンパス

- 8:30～ 受付
- 9:00～12:00 ラウンドテーブル
- 12:15～13:15 昼食(アトラクション・次回大会開催校挨拶等)
- 13:15～16:30 自由研究発表

▲ 関連行事

- 6月3日(金)
- 16:00～ 理事会(多摩アカデミーヒルズ)
- 18:30～ 理事会懇親会(多摩アカデミーヒルズ)

3. 「ラウンドテーブル」企画要領

ラウンドテーブルは会員間の研究活動を活性化し、さらには学会全体で共有できる研究課題を発掘することを目的として2002年の宮城大学での大会からプログラムに組み込まれてきました。本学会は、多様な研究領域の方々が集まりながら「大学教育」ということに焦点を当ててその充実を図ることを大きな目標としています。ラウンドテーブルにおいても個別研究領域・研究機関の課題に終始することなく、多様な人々の研究情報の交換ができる場となることが望まれます。以上の趣旨をご理解頂いたうえで、ラウンドテーブルの企画に当たっては、企画者だけでなく発表者(発題者・話題提供者等)についても原則として会員とし、複数の教育研究機関にわたるようご配慮下さい。

ラウンドテーブルの申し込みについては、「自由研究およびラウンドテーブルの申し込みについて」をご参照下さい。ラウンドテーブル全体の調整・とりまとめは大会企画委員会が行います。また、ラウンドテーブルの内容は企画者によって大学教育学会誌にご報告頂きます。

4. 総会

議長 小笠原正明(会長)

5. 基調講演

趣旨:国際水準での質保証が求められている中で、緊急に解決されるべき幾つかの問題があります。

(1) 大学教育の質保証とは、いかなるステークホルダーを念頭において定義されるべきなのか。(2) 評価のシステムはゴールの共有に重きを置いた大学の平準化を目指しているように見えるが、創立の理念等に即した各大学固有の改善はどのように尊重・評価されるのか。(3) 大学は社会的人材育成のための機関たるべきことが要請されているが、学生個人の向上を目指すための学びはどのように尊重され評価されるのか。

以上の観点から、我が国における大学教育の質保証のあり方を考えてみたいと思います。

演題「何のため、誰のための質保証」

講師 佐藤東洋士(桜美林大学長)

司会 大越孝(桜美林大学副学長、大会実行委員長)

6. シンポジウム I 「現代における生涯発達と大学教育」

趣旨:教養教育の目的の一つは人間形成にあると言われてきましたが、その内実は青年期の学生がどのように社会的自立を果たすかということに重点が置かれていたように思われます。しかし、高齢化時代の急速な進展は、自分たち自身が高齢者としてどう生きるのかという問いを、人生の重要な問いの一つとして投げかけています。観点を換えて言えば、人間は各発達段階に固有の発達課題を達成することによって成長すると言われていますが、ユニバーサル化の進んだ現在において、大学教育が高校を卒業したばかりの青年層だけではなく、あらゆる年齢層の人々にとって意味のあるものであるためには、学生一人一人のライフステージにおいて、大学教育が担うべき意味と役割を明確にする必要があります。

このシンポジウムでは、人生80年を視野に入れ、また男性とともに女性にも焦点を合わせて大学教育の意味を考え直し、その充実の方向を探りたいと思います。

報告

- ・生涯発達と大学教育 未定
- ・キャリア形成とライフサイクル 山崎洋子(武庫川女子大学)
- ・大学入学のレディネス 筒井洋一(京都精華大学)

司会 松岡信之(国際基督教大学、企画委員)、井下千以子(桜美林大学、実行委員)

7. シンポジウムⅡ「大学教育における質保証の実践的展開とその意味」

趣旨: 大学教育の質保証という主題に関して、本学会では主として教育評価やFDといった観点から考察してきましたが、このシンポジウムでは、各大学が、教育の質保証に関わって取り組みを求められている(あるいは今後求められるであろう)実践的なトピックを取り上げ、それらが学生の学習動機や学習成果、大学全体の教育力、教育マネジメントの向上など、大学教育の具体的な改善にどのように繋がっているのか、課題や展望はどのあたりにあるのか、実践的な事例を出発点としてこれを検討します。より具体的に言えば、設定された到達目標をどのように学習させるか(カリキュラム設計)、個々の学生の到達度をどのように判定するか(成績評価)、そのような教育システムの効果をどのように自己評価するか(学生調査)の3点を中心に考察します。

基調講演の問題提起を踏まえ、この主題をこうした観点から考察することによって、本大会の大会テーマについてより深い理解を共有できることを期待しています。

報告

- ・3つのポリシーの策定と一貫性構築によるカリキュラムの質保証 佐藤浩章(愛媛大学)
- ・GPAについて(仮題) 筒井泉雄(一橋大学)
- ・学生調査(仮題) 山田剛史(島根大学)

司会 川島啓二(国立教育政策研究所、企画委員)、中村雅子(桜美林大学、実行委員)

8. 「自由研究」発表要領

会員の研究発表とそれに基づく討論は、学会活動の基本です。会員各位の積極的な参加を期待します。「自由研究」の発表要領は以下の通りです。

- (1)各発表とも発表15分+質疑応答5分、計20分です。
- (2)ご応募いただいた「発表テーマ」および「発表内容要旨」を参考にして、会場分けを行います。会場分けは、大会実行委員会にご一任願います。
- (3)会場ごとに、発表終了後、総合討論の時間を設けます。発表者は必ず総合討論にご参加ください。
- (4)共同研究の成果を発表される場合は、会場での発表者は本学会員とします。但し「発表要旨集」には、共同研究者として非会員の氏名も記載することができます。
- (5)団体会員としての資格で発表する場合は、団体名での発表になります。該当する場合は、発表申込みの画面で、必ず『所属機関名』をご記入ください。

自由研究およびラウンドテーブルの申込みについて

※「自由研究」と「ラウンドテーブル」の発表申込み期間は、2011年2月10日(木)～3月1日(火)です。

※両申込みとも、原則、学会Webサイトの「会員ページ」からの申込みとなります。

「会員ページ」は学会Webサイト(<http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>)の「会員ページログイン」部分からお入りいただけます。

※ Webサイトをご利用にならない場合は、大会実行委員会宛に郵送してください。申込みの内容は、申込者の「会員番号」、「氏名」、「氏名フリガナ」、「メールアドレス」、「発表の種別」、「テーマ」、自由研究の場合は「カテゴリー」、「発表内容の概要」となります。カテゴリーについては下記の「会員ページからの申込み手順」の第4項をご参照ください。

「会員ページからの申込み手順」

1. 会員ページ入口でID、パスワードを入力し、ログイン後「大会発表の応募」に進みます。

※注 「パスワードを忘れた方は、ungakkai@gmail.comにご連絡ください。」

2. 「大会発表の応募」にログインすると、申込者の「会員番号」、「氏名」、「氏名フリガナ」、「メールアドレス」が表示されていますので、それをご確認ください。

3. 「発表の種別」で「自由研究」あるいは「ラウンドテーブル」を選択してください。

4. 「自由研究」「ラウンドテーブル」とも、登録内容は以下の通りです。

- ・「テーマ」をご記入ください。

- ・発表内容の概要は日本語300字程度、または英字(半角)600字程度でご記入ください。

- ・「自由研究」については、できるだけ似た内容の発表を集めたいと思いますので、「大会発表の応募」の「カテゴリー」の選択ボックスから一つ選択してください。

【カテゴリー一覧:1.学士課程教育 2.教育方法・授業改善 3.初年次教育 4.情報教育・理数教育

5.高大連携・高大接続 6.学生支援 7.キャリア教育 8.大学運営 9.教職員能力開発 10.その他】

5. 「自由研究」、「ラウンドテーブル」とも発表の可否が決定されますと、発表の可否通知メールが申込者宛に自動送信されます。許可された場合は、会員ページの「お知らせ」欄の「発表要旨原稿を提出する」から「発表要旨原稿」の提出(アップロード)が可能になります。「お知らせ」欄に表示される要旨原稿の提出案内にしたがい、原稿を4月20日(水)までにアップロードしてください(Webサイトをご利用にならない場合には、別途ご案内いたします)。

6. ラウンドテーブルの企画者は、発表者の情報についても要旨集原稿に掲載してください。

〈郵送の宛先、および本お申込みに関してのお問合せ先は、下記のとおりです。〉

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 桜美林大学

大学教育学会第33回大会実行委員会

秀島武敏 教員オフィス TEL: 042-797-8946

または、化学実験準備室 TEL: 042-797-4936

E-mail: hidesima@obirin.ac.jp

件名は『自由研究(もしくはラウンド)に関する問合せ』とご記入ください。

お願い(重要)

会費納入状況に基づく発表および企画の資格を確認するため、会員番号の記載を義務付けております。学会名簿をご参照のうえ、ご記載願います。

なお会員番号が不明な場合は、学会事務局(042)704-7014 までお問い合わせください。

=事務局から=

● 最新の学会名簿を発行しました

昨年9月より会員の皆様には会員情報の更新にご協力いただきまいりました。この度、大学教育学会名簿(2010年12月31日現在)を発行しましたので、お手元にお届けいたします。

なお、異動その他にともない、ご登録いただいている会員情報に変更が生じた個人会員の皆様は大変お手数ですが、本学会ウェブサイト会員ページより、会員情報変更の申請をお願いいたします。団体会員の皆様におかれましては、学会事務局までメールまたはファクスにてお知らせください。

● 会費納入のお願い

今年度(2010年度)の会費が未納の方および過年度の会費・会誌代が未納の方々は、**2月25日(金)**までにご入金ください。(領収証につきましては、郵便払込票の受領証をもって替えさせていただきます。)

なお、入金状況について不明な方は、メールもしくはFAXにて会員番号を明記の上、事務局までお問い合わせください。

年会費等郵便振替口座 00120-4-178891 「大学教育学会」

ご入金はなるべく郵便払込取扱票をご利用ください。やむを得ず、**銀行からご入金を希望される場合は、お手数でもご入金前に必ず事務局までその旨ご連絡ください。**

● 大学教育学会第33回(2011年度)大会参加申込みについて

本号のニュースレターでは、自由研究発表やラウンドテーブルの企画の申込みについてご案内申し上げましたが、大会への参加申込みにつきましては、次号のニュースレター(4月発行予定)にてご案内いたします。

● 2011年度課題研究集会について

2011年度課題研究集会(開催校;山形大学)は、11月26日(土)~27日(日) 山形市中央公民館にて開催予定です。

● 住所変更の届出についてのお願い

定期刊行物は、おもにヤマトメール便を利用しているため、転居にともなう転送はされず数週間後、事務局へ返送されてまいります。

このような事情をご理解の上、変更が生じた場合、なるべく迅速に、上記のとおり会員情報の変更申請をウェブ上よりお願い申し上げます。

【大会事務局】

〒194-0294 町田市常盤町3758
桜美林大学 町田キャンパス 秀島武敏教員オフィス内
大学教育学会大会第33回事務局
Tel: 042-797-8946
E-mail: hidesima@obirin.ac.jp

【学会事務局】

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1
桜美林大学 淵野辺キャンパス 3階
Tel/ Fax: 042-704-7014
E-mail: ungakkai@gmail.com
URL: <http://www.daigakukyoiku.gakkai.org>